

野菜の苗もの

大玉トマト・ミニトマト・ナス・キュウリ 9cmポット 各1ポット 4ポットセット (ポットに名前のシールがついてます)

【大玉トマト ホーム桃太郎】



〈特徴〉栽培しやすく、タバコモザイクウイルス、斑点病などの耐病性がある品種です。

平均果重 200g~210g、果色は濃桃色で、食味の良い完熟トマト。

〈収穫〉6月~9月頃、果実が十分に着色し、糖度がのってきたら収穫します。

〈トマトのポイント〉

トマトは1本仕立てが基本になります。花房の下の旺盛なわき芽は、早くつみ取りましょう。最終収穫段の蕾が見えたら、その上の本葉2枚を残して摘芯します。梅雨時には排水を図り、梅雨明け後は敷き藁を増やすなどして、水分管理に注意しましょう。

【ミニトマト ミニキャロル】



〈特徴〉果実は1花房当り30~50果ほどつき、粒の大きさや甘さがしっかりとそろいます。

ToMV、萎凋病、斑点病に対して抵抗性があり、サツマイネコフセンチュウにも強いです。

〈収穫〉6月~9月頃、果実が十分に着色し、糖度がのってきたら収穫します。

〈ミニトマトのポイント〉

トマトは1本仕立てが基本になります。花房の下の旺盛なわき芽は、早くつみ取りましょう。最終収穫段の蕾が見えたら、その上の本葉2枚を残して摘芯します。梅雨時には排水を図り、梅雨明け後は敷き藁を増やすなどして、水分管理に注意しましょう。

【ナス 千両二号】



〈特徴〉草勢、耐暑性が強い早生系品種です。

果形は長卵形、果色は光沢の強い濃黒紫色で、果皮も柔らかく食味もすぐれています。

〈収穫〉6月~9月頃、果実が13cm前後(80~100g)を目安に、収穫します。

〈ナスのポイント〉

3本仕立てが一般的な整枝方法です。一番花の下から出てくる強い枝2本を残し、主枝と合わせて3本仕立てとします。生育が進むと枝が伸びてくるので、内側の枝や、葉を定期的に整理して果実などに光が当たるようにします。

【キュウリ 節成きゅうちゃん】



〈特徴〉節成タイプの夏秋キュウリで、病気に強く、育てやすい品種です。

果は濃緑で、水々しく、歯切れよく、食味が良い

〈収穫〉6月~9月頃、果実の長さが21cmくらいを目安に収穫します。

〈キュウリのポイント〉

側枝は下位5~6節までは摘み取り、その上4~5節は1枚止め、その上の節は2~3枚止めとします。主枝摘芯後は必ず力強い生長点を2~3残し、草勢を維持します。べと病、炭そ病、つる枯病などの病害は、多湿条件で発生しやすいので、水はけをよくします。下葉や下位側枝を整理して、風通しと日当たりをよくします。

〈畑の準備・定植・肥料〉

1㎡当たり苦土石灰約150g、完熟堆肥約3kg、有機配合肥料約100gを施します。

平均気温15℃、最低温度9℃以上になった頃、幅80cmくらいの畝を作ります。

株間60~80cm程度で、定植します。根鉢を崩さないように植え、仮支柱を挿します。

追肥は、実が付き始めたら、適宜与えてください。

苗の使用農薬 対象品種名:キュウリ 節成きゅうちゃん

次亜塩素酸ナトリウム 種子粉衣 ジノテフラン 株元散布 1回

ベンチオピラド、シアントラニリプロール、スピネトラム、エマメクチン安息香酸塩、
散布 各1回

苗の使用農薬 対象品種名:トマト ホーム桃太郎・ミニトマト ミニキャロル

ジノテフラン 株元散布 1回

TPN、シアントラニリプロール、エマメクチン安息香酸塩、ニテンピラム、
散布 各1回

苗の使用農薬 対象品種名:ナス 千両2号

ジベレリン 種子粉衣 1回 ジノテフラン 株元散布 1回

エマメクチン安息香酸塩、スピネトラム、スピノサド、TPN、塩基性硫酸銅、フルキサメタミド、
スピロテトラマト、フロニカミド、炭酸ナトリウム 散布各1回